

乳腺科

1. スタッフ（平成27年4月1日現在）

科 長（准 教 授）穂積 康夫
 外来医長（助 教）竹原めぐみ
 病棟医長（病院助教）遠藤 和洋（5B）（兼）
 病院講師 藤田 崇史
 病院助教 上徳ひろみ
 病院助教 櫻木 雅子
 病院助教 宮崎千絵子
 病院助教 大澤 英之（兼）
 大学院生 芝 聡美
 非常勤医員 水沼 洋文
 非常勤医員 吉澤 浩次
 非常勤医員 尾本 和
 他シニアレジデント 2名

2. 診療科の特徴

大学附属病院としては、数少ない乳腺疾患の専門診療科として、県内はもとより茨城、埼玉、群馬からの患者も多く、北関東では有数の症例数で、年々増加している。

放射線診断学、超音波診断学部門との協力で、質の高い診断を行っている。手術では、通常の乳房温存術、乳房切除術のほか、希望に応じて、形成外科の協力の元、一次的、二次的乳房再建術を行っている。

治療では、種々のガイドラインに則った世界標準治療を行うことを原則とし、さらに新たな標準治療の確立のため、国内外の乳癌専門施設と共同で多くの臨床試験、治験を積極的に行っている。

・施設認定

日本乳癌学会認定施設
 JCOG施設

・専門医

日本乳癌学会 指導医 穂積 康夫 他1名
 日本乳癌学会 乳腺専門医 穂積 康夫 他6名
 ASCO Active Member 穂積 康夫
 ESMO Active Member 穂積 康夫

診療内容

手術：乳房温存手術、胸筋温存乳房切除、センチネルリンパ節生検、乳房再建
 化学療法（術前術後療法・進行再発）：AC、EC、FEC、TC、CMF、パクリタクセル、ドセタキセル、トラスツマブ、ペルスツマブ、ラパチニブ、

T-DM1、ペバシツマブ、ビノレルビン、カペシタジン、TS-1、エリブリン、ジェムスタビン、カルボプラチン）

内分泌療法：（LH-RHアナログ、SEAMs、AIs、フルベストラント、MPA、プロセキソール）

3. 診療実績

1) 新患者数・再来患者数・紹介率

外来患者総数	13,628人
新患者数	464人
再来患者数	13,164人
紹介率	84.2%

2) 入院患者数（病名別）

病 名	患者数
甲状腺癌	1
乳癌	331
その他の乳腺疾患	1
合 計	333

3-1) 手術症例病名別件数

病 名	人 数
乳房温存術・乳腺部分切除術	156
乳腺摘出術・乳房切除術	101
その他の乳腺手術	7
合 計	264

3-2) 手術術式別件数・術後合併症件数

	症 例 数	合 併 症 件 数	再 手 術 症 例 数
乳房温存術・乳腺部分切除術	156	0	0
乳腺摘出術・乳房切除術	101	1	1
その他の乳腺手術	7	0	0
合 計	264	1	1

4) 化学（放射線）療法症例・数（入院）

甲状腺癌	1件
乳癌	18件
	2500件（外来）

化学療法プロトコール

乳癌	
1	AC：ドキシソルビシン シクロフォスファミド
2	EC：エピルビシン シクロフォスファミド
3	TC：ドセタキセル シクロフォスファミド
4	FEC：エピルビシン シクロフォスファミド 5-FU (fluorouracil)
5	TAC：ドセタキセル ドキシソルビシン シクロフォスファミド
6	パクリタキセル
7	ドセタキセル
8	CMF：メトソトレキセート 5-FU (fluorouracil) シクロフォスファミド
9	ビノレルビン
10	エリブリン
11	nabパクリタキセル
12	トラスツマブ
13	トラスツマブ ペルスツズマブ ドセタキセル
14	T-DM1
15	ベバシズマブ パクリタキセル
16	TCH：トラスツマブ カルボプラチン ドセタキセル
17	ジウムシタピン

5) 放射線療法症例・数 (入院)

乳癌 8件 (入院)
220件 (外来)

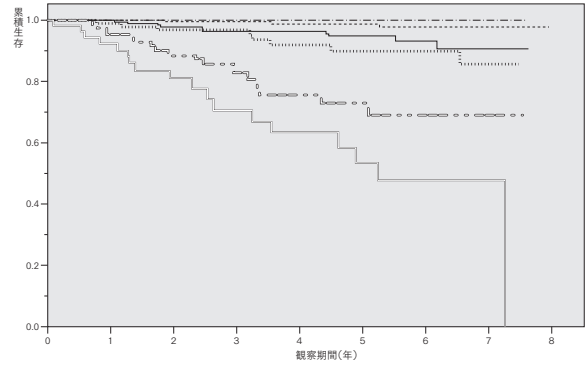
6) その他の治療症例・数 (外来)

乳癌に対するホルモン療法：1500件

7) クリニカルインディケーター

(1) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績

7-1 乳癌



stage 0	(- - - : n=171)	5年生存率 99.2%
stage I	(- · - · - : n=708)	5年生存率 98.1%
stage II A	(— : n=363)	5年生存率 94.0%
stage II B	(· · · · · : n=107)	5年生存率 90.0%
stage III	(= = = : n=87)	5年生存率 73.3%
stage IV	(— : n=53)	5年生存率 53.5%

以前のデータと比して、早期の症例の割合が増えており、IIB以降の進行症例の生存率が著明に向上している。

8) 死亡症例

入院死亡数： 11人
手術死亡数： 0人
剖検数： 0件 (剖検率 0%)

9) 主な処置・検査

超音波検査 2500件
マンモグラフィ 3000件
マンモトーム生検 120件
針生検/穿刺吸引細胞診 500件

10) カンファランス症例

術前カンファランス 250件
治療カンファランス 400件
術後病理カンファランス 250件

4. その他・来年度の目標等

臨床腫瘍科と共同で、外来化学療法センターの更なる拡充を図る。

既存の診療科やコメディカルとの協力をさらに進め、乳癌のチーム医療の確立を図る。

病診連携クリニカルパスを作成し、県内外の医療機関と病診連携を進める。